

令和6年度第1回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和6年5月31日（金）午前10時00分～午前11時00分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（7名）

畑 中 伸 也（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安 成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（6名）

黒 川 浄 明（産業振興部 次長兼農林水産課長）

橋 本 優 香（産業振興部 農林水産課 主幹（農業基盤整備担当））

杉 本 高 康（産業振興部 農林水産課 課長補佐兼農業基盤整備係長）

西 脇 聖 二（都市創造部 都市管理課 建築営繕係長）

濱 口 隆 史（都市整備部 都市管理課 建築営繕係 主査）

伊 藤 一 成（社会基盤整備部 土木課 主幹（プロジェクト事業推進担当））

事 項

1 開 会

【事務局】

定刻より少し早いですが、出席委員の方が全員揃われましたので、令和6年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。着座にて失礼いたします。

最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

おはようございます。以前、子ども未来部にいましたが、この4月の異動で総務部長を拝命いたしました、畑中と申します。よろしくお願いいたします。前任の高橋同様、委員の皆様にはご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会議が始まります前に、市を取り巻く状況を少しだけお話させていただきます。

1月の能登半島大地震の後、市でも現在、給水活動や避難所運営などの部分で延べ110名を超える職員を被災地に派遣しております。先日、市長も訪問しておりまして、今後、市の災害対応の強化、地域における共助の風土及び連携体制の仕組みづくりなどを進めて参りたいと考えております。

また、今年度の11月には、市長選挙等も予定しておりますので、その投票率の向上に向けた投票所の改革、市民の皆様のニーズも踏まえて検討していく必要があるのかなと考えております。

この会議も定期的を開催させていただき、入札制度の公平性、透明性を担保していくために皆様からの貴重なご意見をお伺いして、定期的に私共の事務も見直しを図って、制度の維持に努めて参りたいと考えております。

本日ご出席の皆様には忌憚のないご意見をお聞かせいただいて、この委員会が有意義なものとなることを願っておりますので、本日の議事もよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

皆さん、おはようございます。

入札監視委員会として、入札が適正に行われているかどうかということを、私共が公開することで、少しでも良い方向へ、抑止力になっていければいいなと思いながら進めさせていたのですが、世の中の流れを見ますと、チャットGPTとか、ああいうものもちょっと触ってみますと、本当に自分の想像を超える答えを出してきてくれると。もちろん、それは正解ではなくて、単に世界中から集めてきたような情報を基に機械的に出された答えではあるんですけども、ひとりで出して考えているよりは、たたき台としては使えるのではないかなと思ったりしているものです。

市の方におかれましても、先ほど、総務部長がおっしゃいましたように、災害の問題が喫

緊の課題だと思いますし、また、それ以外でも、例えば、水道管の老朽化の問題等々、何を優先順位とするかというところは、本当に悩ましい問題ではあるかと思いますが。

とにかく、市民生活も含め、あるいは経済活動も含めて、そういったものが滞ることがないように、適正な工事が行われるような入札制度でいけばいいかなと思っています。

今日も皆さんご審議の方、ご協力、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

「議事(1)入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは「(1)入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和6年1月から令和6年3月の3か月の間に指名停止を講じた件数は1件です。

この1件は、三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

②の談合情報でございますが、対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

本日の会議は一般公開としております。

これ以降の審議につきまして、傍聴を希望される方がみえますので、許可したいと思いますがよろしいでしょうか。

《全委員了承》

ありがとうございます。それでは傍聴人入場のため、しばらくお待ちください。

《傍聴者入場》

傍聴の皆様、お待たせしました。

本委員会での写真、映像については、頭出し部分に限らせていただきますのでよろしくお

願います。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は、必ずマイクを使用してくださいようお願いします。

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

では、令和6年度第1回桑名市入札監視委員会審議案件の抽出理由について、抽出をいただきました山下委員から説明をお願いします。

【山下委員】

はい、おはようございます。

まず、1点目の案件については、10者ほどが応札し、1者が失格になっており、失格の理由ということで抽出させていただきました。

続いて、2点目の案件については、応札が2者と少ないということがありまして、それで抽出させていただきました。

3点目の案件については、随意契約の理由をお尋ねしたいということで抽出させていただきました。

以上でございます。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

入札監視委員会条例第6条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

《全委員了承》

それでは関係者の出席を求めます。

《発注担当課入室》

抽出事案 1 多度山遊歩道環境整備工事

【委員長】

それでは、第1案件「多度山遊歩道環境整備工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【農林水産課】

おはようございます。農林水産課でございます。よろしくお願いします。

座って失礼いたします。

件名は、多度山遊歩道環境整備工事。

施工場所は、桑名市多度町多度地内。

工期は、令和6年2月20日から令和6年6月24日まで、現在、施工中でございます。

当初の設計金額は30,379,800円。契約金額は、27,863,000円でございます。

工事の内容につきましては、掘削工1式、ウッドチップ舗装工495㎡、案内看板設置工1式であります。

本工事の概要は以上でございます。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の5ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、舗装工事業の特定又は一般の許可業者であること。

所在地は市内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

同種工事施工実績として、平成20年度以降に官公庁が発注した案件で、舗装工事の施工実績を有すること、技術者要件としては、現場代理人と、主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、6ページをご覧ください。

令和6年2月7日に開札を行いましたところ10者から応札がありましたが、1者が入札参加資格要件を満たさないため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で最も低い金額において9者が同額であったため、くじ引きを行いました。

その結果、株式会社藤井建設が落札候補者となり、事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き2,533万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見ございませんか。

【山下委員】

入札参加資格要件を満たさないということでしたが、もう少し具体的に説明をお願いしたいと思います。

【事務局】

はい、お答えいたします。

開札後に事後審査というものを実施しています。その事後審査の項目は、発注公告の入札参加資格要件にありますように、いくつか審査要項があります。経審点数ですとか、完成工事高、同種工事施工実績などを審査させていただきますが、この中において、一部、要件を満たさないものがありましたので、今回、失格となっております。

以上です。

【山下委員】

この発注公告というのは、事前に公表されているわけですから、それに基づいて応札があるということで、これは業者さんも見えていますか。

【事務局】

はい。こちらは公開しているため、業者さんもお存知ですが、一部、この内容を取り違えていたという手違いがあったということです。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

他にご意見、ご質問等いかがでしょうか。

【副委員長】

よく言われる話ですが、9者が同額で入札しているのは、その工事の積算がだいたい同じになるようなかんじなんではないでしょうか。

【委員長】

はい、いかがでしょうか、お願いします。

【農林水産課】

農林水産課の杉本でございます。

先ほどご質問いただきました件について、回答いたします。

公共積算基準に基づいて設計しており、そちらで公開されている内容につきまして、数字を入れていくという作業になりますので、そういったところで、9者の方が揃った額で入札されたと想定しております。

以上です。

【委員長】

いかがでしょうか。

【山下委員】

私も積算はします。

工事の難易度によって、なかなか積算は求められないということがよくあります。

低額の工事ならわかるんですけど、これくらいの規模になると、積算を組むと、私は必ず、他の方と同額になるということは、積算をしていけば、まずない。

ただ、積算をしているんじゃなくて、逆算というところを使って、ある程度予定価格を入れて、単なる逆算をするとこういうふうな結果になるんです。で、答えを出されている。

じゃあ、これが果たして積算なのかというふうに僕は思うんですけど。

市内業者の育成の観点から言っても、技術的、技能的に積算能力を高めていただくという観点からも、こういったことも、同額になったからソフトで弾いてそうだったから仕方がないと言っているじゃなくて、もうちょっと突っ込んで、どうしてだろうということを問題視していただければありがたいなと思います。

以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

いかがでしょう、今の件については。いいですか、担当課。

【農林水産課】

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

この工事は、設計額としては3,000万円を超える工事ですが、舗装工事ということもありまして、工種が構造物等を作る工事に比べると少ないところもあります。

比較的、難易度としては、先ほど委員がおっしゃられた工事の内容のものよりは、容易だったのかなという部分も、想定ですけれども思われます。

ありがとうございます。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

なければ、この件に関しては、特に問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

委員の方からも意見がありましたように、積算というひとつの行為を、コンピューターが答えになっていたからというふうに安直に求めるのではなくて、何か工夫できることがないか、そういった検討は、常にさせていただくというのではないのかなと思いました。これは私の意見ですけれども。そのように、またお願いできればと思います。

抽出事案 2 陵成中学校バリアフリー化改修工事

【委員長】

それでは次に、第2案件「陵成中学校バリアフリー化改修工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

はい、都市管理課の西脇と申します。

お手元の概要書に沿って説明させていただきます。

件名は、陵成中学校バリアフリー化改修工事。

履行場所は、8ページ目に位置図を付けておりますが、住所は、桑名市筒尾八丁目12番地内。

履行期間は、契約締結日より330日間で、令和6年2月27日から令和7年1月21日まで。
設計金額は、税込み122,980,000円でございます。

工事の概要といたしましては、15人乗りのエレベーターを設置するために、延べ床面積44.13㎡、3階建てのエレベーター棟の増築工事を行います。

次に、既存校舎の改修工事といたしまして、1、2階の特別教室内に多目的トイレを設置、廊下と教室の間の壁の防火区画改修、校内各所にスロープ設置及び段差解消を行います。

そのうち、エレベーター棟増築工事の解体工事、1、2階多目的トイレ改修工事、防火区画改修工事、スロープ設置及び段差解消工事につきましては、通常授業に支障が出るため、夏休み期間中に行う予定となっております。

9ページ目以降に図面を付けておりまして、配置図、計画図と、改修後の1階平面図、改修後の2階平面図、改修後の3階平面図です。

工事の概要は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の13ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で低入札価格調査制度対象案件です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、建築工事業の特定の許可業者であること。

所在地は県内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であることとします。

同種工事施工実績として、平成20年度以降に、官公庁が発注した案件で、建築一式工事の施工実績を有すること、技術者要件としては、現場代理人と、監理技術者の配置を求め、低入札価格で契約を締結する場合は、上記技術者のほかに監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術担当者として1名追加配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、15ページをご覧ください。

令和6年2月14日に開札を行いましたところ、2者から応札がありました。

本件は低入札価格調査制度対象案件であり、最も低い価格で応札した株式会社薫田工務店の入札価格は、調査基準価格以上かつ予定価格の範囲内であったため、落札候補者となりました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き1億590万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

【山下委員】

お尋ねいたします。

1点目は、市内業者で経審点数が710点以上というのは何者くらいおみえになりますか。

【都市管理課】

今回の発注条件ですと、市内業者の応札可能業者数は、8者と認識しております。

【山下委員】

それでは2点目です。

規模が大きい割には、応札の業者数が少ないかなと思います。

今もおっしゃったように、市内だけでも8者みえるわけですから、それ以外にも準市内とか県内業者もいる中で、それにしても2者は少ないと思いますが、それについて考えられる理由は何かございますか。

【都市管理課】

お答えいたします。

本工事は、令和5年度の12月の補正予算で工事費を予算要求しておりまして、1つ考えられるのは、入札までの期間が短かったことによって、周知の期間がとれなかったことが一つの要因かなと考えております。

また、年度末の発注ということがありまして、各業者さんの方で技術者さんが不足していたタイミングだった可能性が考えられます。

あとは、工期が330日と長いということで、技術者の確保が難しかったのが要因ではないかと考えております。

【委員長】

よろしいですか、いかがでしょう。

それでは、他にご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【副委員長】

先ほど言われました工期なんですけど、工期は長ければ業者にとってはその分使える日数が長いので猶予がきくんですけど、短く済ませられれば済ませられるというふうな意味のものではないんですか。

どちらかと言うと、長いから入札辞めとこうという理由になるのかなと思ったんですけど。

【委員長】

はい、担当課、いかがでしょうか。

【都市管理課】

おっしゃられたように、工事の工程を上手いこと組んでもらって早く終わることができれば、工期としては短くできますので、そういった方法では、業者さんで工夫すれば、工期

の方では影響がないかもしれませんが、ほとんど1年近くということで、長いかなということで、要因の一つとして考えたということで先ほど申し上げました。

【副委員長】

この工期というのは、だいたいこれまでの経験で、どれくらいはかかるなというところで計算されているということですか。

【都市管理課】

傾向と、昨年度、三重県の方で発注された工事というのが、これと同じようにエレベーター棟を増築して、校舎の方も同じような改修をしてという工事がありまして、そちらの問い合わせをして工程表等を入手しまして、そちらも参考にしながら工期は設定させてもらっています。

【委員長】

よろしいですか。

他に、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは特にないようですので、この案件につきましては、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

はい、それでは問題なしということで、これに関しては終わります。

抽出事案 3 橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（沢北川3号橋他）

【委員長】

続きまして、第3案件「橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（沢北川3号橋他）」について、発注担当課から委託概要と随意契約理由書の説明をしていただき、その後、事務局から見積経過について説明をお願いします。

【土木課】

はい、おはようございます。社会基盤整備部土木課の伊藤です。よろしくお願いいたします。

では、私の方から概要について説明させていただきます。

件名につきましては、橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（沢北川3号橋他）。

履行場所につきましては、桑名市大字播磨地内他。

履行期間は、令和6年3月19日から令和6年6月30日まででございます。

予算額につきましては、6,500,000円。設計金額6,487,800円でございます。

概要につきましては、橋梁修繕設計積算業務2橋でございます。

次、資料を1枚めくっていただきまして、随意契約理由でございます。

随意契約理由に関しましては、橋梁修繕工法の構造・施工方法は、現在多様化しており、新技術・新工法は日々研究開発されている中、当市の限りある技術者が各橋梁の損傷状況から適切な対策工法を判断することは困難な状況であります。

そういった中で、公益財団法人三重県建設技術センターは、橋梁点検・健全度評価・長寿命化修繕計画・修繕設計・積算に至る一貫した専門知識や経験を有してございます。

また、「市町の橋梁長寿命化計画の画一化」を目的といたしまして、三重県の橋梁管理システム開発から健全度評価及び長寿命化修繕計画に共同参画しております。

このようなことから、国・県・市町などから構成される「三重県道路インフラメンテナンス協議会」の一員として参画しており、専門技術やインフラメンテナンスの継続的支援が可能な県下唯一の団体です。

そういったことから随意契約をさせていただいております。

私からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果についてご説明いたします。

資料の20 ページをご覧ください。

令和6年3月13日に見積り合わせを行い、指名業者の公益財団法人三重県建設技術センターから見積を徴しましたところ、予定価格の範囲内でしたので、税抜き530万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明について、ご質問、ご意見等をお願いいたします。

いかがでしょうか。

私の方から一つ質問させていただきますが、こういった修繕というのはやっていかなければいけないことだろうと思っております。こういったかたちで修繕の設計依頼というのは、どれくらいの期間のスパンでやられているのでしょうか。

例えば、この度のコンサルの修繕の計画に従って、この先工事発注がされていくと思うんですけど、計画の期間というのはどれくらいでみていらっしゃるのでしょうか？

【土木課】

はい、伊藤が回答させていただきます。

桑名市では、橋梁長寿命化修繕計画というものを立てています。

これによりますと、国からの方針でもあるんですけども、5年以内に全ての橋梁点検をさせていただいております。

それが、令和5年度で、2巡目、10年かけて2巡させていただいております。

そういった中で、点検結果に基づきまして、修繕が必要なものは、発見されてから5年以内に修繕しなさいというのがありますので、そういったことに基づきましてその期間内に修繕するように、今、設計等をかけさせていただいているような状況でございます。

【委員長】

はい、わかりました、ありがとうございます。

他に、ご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【副委員長】

意味はわかったんですけど、落札率が89%で、この予定価格自体は、どのように決まっていって、最低制限価格はないんですけど、このあたりの妥当性というところはどのように判断されているのでしょうか。

【委員長】

はい、お願いします。

【土木課】

はい、予定価格につきましては、桑名市の方で、設計業務委託に対して積算させていただいております。

というのは、積算業務委託に関しては、三重県から出されている既存橋梁補強補修業務積算参考資料というのがありますので、それに基づいて積算させていただいて設計金額を算出の上、予定価格を決定させていただいております。

【委員長】

はい、いかがでしょうか。

【副委員長】

最低制限価格はない、予定価格よりも低ければいいということですかね。

【事務局】

はい、お答え申し上げます。

最低制限価格に関しましては、要綱で決められておりまして、対象は、随意契約による場合は除いて、設計金額が50万円以上の建設工事及び維持業務委託並びに測量業務及び建設コンサルタント業務等です。

随意契約でなければ、もちろん最低制限価格を設定するということになります。

以上です。

【副委員長】

予定価格よりも下だからいいというかんじなんですか。

落札率が89%で1者しかいないので。

【事務局】

はい。お答え申し上げます。

予定価格は公表しておりませんので、その金額を超えなければ落札を決定します。

通常の最低制限価格に関しましては、予定価格は事前公表、最低制限価格は事後公表です。

以上です。

【委員長】

よろしいですか。

はい、ありがとうございます。その他、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

【山下委員】

随意契約された理由のところに詳細をご記入いただいておりますが、県下唯一の団体ということで、金銭的な問題と、もう少し範囲を広げてもいいんじゃないかなと、私、個人的には思います。

税金で行っている事業ですので、他県の業者も含め競争していただいて、少しでも価格を下げて税金を少しでも使わないという観点からも、その辺についてはどのようにお考えでしょうか。

【委員長】

担当課、お願いします。

【土木課】

はい。土木課伊藤です。

随意契約理由書にもありますが、今回は、設計と積算業務を委託させていただいております。

設計に関しては、確かに競争性があるかと思いますが、この積算に基づいて橋梁修繕工事というものを発注していき、今後の工事の設計代、工事費に関しては、今回、公共積算というものを行っていただいております。

この公共積算を行えるのは、三重県内で三重県建設技術センターのみになっていることから、随意契約をさせていただいております。

【山下委員】

説明していただいていることは理解してわかるんですけど、三重県内ではということですね。

もう少し広げるということは考えられなかったんですか。

【委員長】

はい。お願いします。

【土木課】

公益財団法人ということで、原則として、入札等に参加できない事業者になってございますので、随意契約とさせていただいております。

【委員長】

はい、よろしいですか。

ありがとうございます。

他にご意見、ご質問等いかがでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

他にないようですので、この案件については問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、問題なしとします。

はい、それでは以上をもちまして抽出案件3本の審議を終了いたします。

発注担当課はここで退席してください。ありがとうございました。

《担当課退席》

【委員長】

次回の審議案件の抽出は、順番により私となります。

(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

【委員長】

続きまして、「議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

はい、では、(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて、今回は2項目、「総合評価落札方式の評価基準について」「低入札価格調査制度について」、関連しますので、まとめてお手元の資料によりご説明申し上げます。

資料の1ページをご覧ください。

総合評価落札方式は、価格だけで評価していた従来の落札方式と異なり、公共事業の質を高めるために、性能、機能、技術等、価格に加えて価格以外の要素を含めて総合的に評価し、価格と品質を数値化した評価値が最も高いものを落札者とする方式です。

総合評価落札方式における低入札価格調査制度の運用については、低入札をした者が完全な履行をしないこと等により、結果的に地方公共団体が損害を被るおそれがあることから、これを避けることを目的としたもので、これは総合評価競争入札においても同様に考えられることから、地方自治法施行令において、ダンピング対策として認められています。

続きまして、資料の2ページをご覧ください。

一部改正した桑名市総合評価落札方式ガイドラインについて、先週5月20日に公表いたしました。

公告から契約までの流れですが、技術審査委員会や入札参加資格審査会など60日程度の手続きなどが必要となります。

それでは、資料の3ページをご覧ください。

本市における総合評価落札方式のタイプとしては、簡易型及び特別簡易型の2つがあります。

資料の参考例にある簡易型は、簡易な施工計画や施工方法、同種工事の経験、工事成績等に基づき性能等と入札価格とを総合的に評価する型式で、資料の最終行にある配点の合計点は200点満点となっています。

もう一つの型式である特別簡易型は、同種工事の経験、工事成績等、定量化された評価項目と入札価格とを総合的に評価して、資料の簡易型の表にある技術力要件100点を除く100点満点で技術評価点を設定しています。

要するに、技術力要件の有無で、技術評価点が簡易型の200点か特別簡易型の100点かに分かれます。

下の表内、真ん中あたりにある地域・社会貢献度評価については、前回の委員会でもご説明しましたが、今年度からは、項目の追加とカフェテリア方式という項目から選択できることを可能とし、一定数取得すれば満点とする方式を導入しました。

項目の追加では、⑤不当要求防止責任者講習の受講実績、⑥災害協定締結の有無の2項目を追加し、参加事業者は地域・社会貢献度6項目のうち最大3項目を選択し、全ての項目を満たせば、15点を配点します。

今後は、総合評価の実施に向けて、必要な情報を順次公表していき、確実に進めていきたいと考えております。

次回の本委員会では、意見書の中から「工事発注の平準化について」のご説明を予定しております。

説明は、以上でございます。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございませんか。

いかがでしょうか。

【副委員長】

総合評価方式を活用する場合の工事要件というのは、どのような要件でしょうか。

全ての工事が対象ですか。

【事務局】

例えば、工事实績や工事成績、安全衛生管理というようなものを加えていまして、それが参考例の企業要件と書いてあるものです。こちらの中で、もう少し工事個別に詳細な設定をするようなかたちです。発注担当課が、求める工事であれば、より精度が高いものを要求し、それに合わせて加点をするというかたちになっています。

ただ、参考例には、工事实績の配点20点と書いてありますが、実際には細かく細分化するわけではなく、基準を満たすようだったら20点、関連業務ぐらいで支障がない程度でしたら10点とか、それは工事個別にこの後、実際に審査をしてもらって、その決まったものが公告にあがってくることになります。

【副委員長】

今の説明は、業者の実績についてですね。

この工事は総合評価方式をやるとか、この工事は一般競争入札をやるとかという工事そのものの要件の違いは、いくら以上とかあるんですか。

【事務局】

事務局から説明します。

公表している価格設定というのは特にはないんですけど、流れといたしましては、1年間に発注される発注見通しというものが四半期ごとに出されます。その中で、各課が発注する工事をまず出すんですけど、その中で各課が、この工事は総合評価に適しているだろうと、目的に合ってるだろうというような工事を選定していただきます。これを入札参加資格審査会で認められたら指定させていただいて、その後、技術審査委員会という内部の詳細なことまでを取り決めてもらう組織で諮っていただく。改めてその内容を入札参加資格審査会に諮って、それから発注するというかたちになりますので、最初の段階では、どの工事が総合評価になるのかはわかりません。実際に公告する段階で、この工事は総合評価になりますというようなかたちで公表することになっています。

【事務局】

補足ですけれども、金額がいくら以上というようなご質問がありましたが、先ほどお答えをしたとおり、今のところ、いくら以上というものはありません。総合評価に関しましては、前回の委員会でご説明したとおり、10年ぶりの再実施ということで、試行というかたちではないですが、まずは実施をしてみてということで、随時、運用の見直し、価格の設定も含めて課題としては捉えていますので、必要な例規の見直しということも図っていきたいと考えています。以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

他にいかがでしょうか、よろしいですか。

私から、総合評価のやり方というのは、この10年来ずっとなかったということですが、方式としては、企業さんがただ価格だけで競争するのではなくて、地域貢献とかですね、会社として良くなっていく、そこの一つの手助けになるようなものであればいいなあというふうに考えています。

なので、実際やる時は審査会が必要となりますので、それこそ総合評価の案件を決めるだけでも手間ひまかけていただいているわけなんですけど、該当するものを何件かでも実施しているということで、金額競争だけじゃない競争で戦えるんだと思う企業さんが出てくるのもいいのではないかなと思っていますので、ぜひ進めていただくようお願いしたいと思います。

それでは、この件については以上とします。

(4) その他

【委員長】

次に、その他ですが、委員の皆様から何かございますか。

《意見等無し》

【委員長】

それでは、事務局の方から何かございますか。

【事務局】

特にございません。

3 閉 会

【委員長】

それでは、これにて令和6年度第1回入札監視委員会を終了させていただきます。

なお、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。傍聴の方、ありがとうございました。